



行政職員や地域住民等を対象に、鳥類被害対策講座（集落環境診断編（笠間市））を開講しました。講座では、笠間市寺崎地区を実習場所として、イノシシの痕跡や侵入経路の把握、侵入防止柵の設置状況を確認しながら、現地点検を実施しました。その後、ワークショップを通じて、現地で確認した状況を地図化し、鳥獣被害対策の課題や対策について活発に意見交換が行われ、有意義な研修となりました。

講座名 茨城県鳥獣被害対策講座「集落環境診断編（笠間市）」
日 時 令和6年11月29日（金） 午前9時30分から午後4時まで
場 所 笠間市消防本部3階多目的ホール及び笠間市寺崎地区
出席者 18名

受講生の声（抜粋）

- ・実際にみんなで圃場を歩いて状況を見るのは大切だと思いました。
- ・防護設備の適正な設置・管理方法の講義が特に参考になりました。

講師のコメント

今回の研修では、皆さんから鳥獣被害対策の良いアイデアがたくさん出された。今後、研修を通して考えた対策をひとつひとつ実践してほしい。